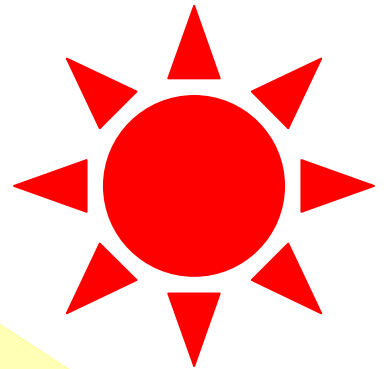


共同住居 ぶかぶかはうす

地元の養護学校を卒業した2人が
港近くの一軒家で自立生活を送っています



2階は2人のプライベートルーム

テレビを見たり、音楽を聴いたり…思い思いに過ごしています

1階は台所やお風呂、トイレ等があり、 2人で共同で使用しています

食事や掃除、洗濯など身の回りのことはホームヘルパーを利用しています

苦手なことはヘルパーさんに…
でも自分で出来ることがたくさん増えてきました

共同住居・ぶかぶかはうすができるまで…

我が子が地域で本人らしく生活してほしいと想う家族と、当法人設立のきっかけである地域での暮らしの支援をやりたいという想いが一つになってかたちとなったものです。

『一緒につくりましょう!』となってからは、グループホーム設立準備委員会を小さく立ち上げ、それぞれの家族が願う本人らしい暮らしと、私たちが考える地域生活のあり方など想いを全て出しました。

そして、約1年半に渡り話し合いを重ね、卒業後の進路は？生活費は？支援の方法は？と徐々に実現に向け準備をしていくなかで、肝心な住む家を趣旨に理解と賛同をいただいて、家主になっていただけの巡り合わせにより確保できたことは、心よりの感謝とともに大きな前進となりました。

家族・身近な支援者・学校・通所施設・役場・あらたによるケア会議を学校卒業前とこれからの開催を通して、皆さんで2人の生活を応援しようとチームワークができてきたことは、将来への安心につながっていきます。